

平成 30 年度 いでの里 事業報告

平成 30 年度は、稼働率において、入所系の特養とグループホームが前年度を下回り、在宅系のデイサービスとショートステイが前年度を上回る結果となりました。年度目標に対しては、ケアハウスとデイサービスが目標を達成しましたが、それ以外の事業所は目標をクリアすることができませんでした。このような稼働状況のため、収入面では厳しい1年となり、支出を抑制することにより、予算どおりの事業活動収支差額を確保することができました。

特養やグループホームは、年間を通じて入院された方が前年度よりかなり増え、長期入院されるケースも多かったことや、ヘルパーステーションや居宅介護支援事業所では在宅のご利用者様のご入院、ご入所等の影響などにより、稼働率が伸びませんでした。

ケアハウスについては、退居があっても待機の方に速やかにご入居いただくなどにより、満室の状況を維持し、デイサービスについては、できるだけ多くの町民の方に利用していただくためには、という問題意識を各職員が共有し、新規ご利用者様の確保などにより成果を上げることができました。

なお、これまで毎年、インフルエンザやノロウイルスなどの感染症の流行に悩まされておりましたが、今年度は感染症対策が功を奏し、施設内での流行は発生せず、ご利用者様やご家族様に大きなご負担をおかけすることはありませんでした。

一方、井手町委託事業については安定して実施できており、また、介護予防・日常生活支援総合事業、とりわけ「おたっしや塾」については、順調にご利用者数を伸ばしてきています。

このような状況の中、いでの里としては、予防系、在宅系から入所系まで幅広い事業部門を有するという特長を生かし、それぞれの事業所が有機的に連携することで、より良いサービスを生み出すという考えを堅持し、次年度にしっかり繋げてまいります。

I 事業運営

1. 納涼祭

7月22日、毎年恒例の納涼祭を実施しました。多くのボランティアの皆様、井手町社会福祉協議会の皆様、ご家族様の協力を得て、地域の方々も含め200人を超える参加者に、盆踊りや屋台、花火を楽しんでいただき、家族交流・地域交流を大いに深める場となりました。

2. 敬老祝賀会

9月16日、多くのご来賓をお迎えし、ご利用者様やご家族様、職員一同で盛大な敬老祝賀会を開催いたしました。京都府からは100歳を迎えられた方に、井手町からは95歳及び88歳を迎えられた方にお祝品が贈られ、施設からもご利用者様全員にお祝品を贈らせていただきました。たくさんの祝辞もいただき、式典後はご利用者様とご家族様との祝宴が催され、素晴らしい一日となりました。

3. 運動会

10月21日、運動会を開催いたしました。今回も、ご利用者様のご健康を配慮し、施設内で実施しました。綱送り・玉入れでは一生懸命汗を流され、ご家族様と職員合同の風船運びリレーでは笑顔一杯となり、楽しい一時を過ごされました。

また、デイサービスでも、室内で10月23日・24日に開催し、延べ63名のご利用者様が参加されました。ボール送り・玉入れ、職員競技のピンポンリレーを楽しまれ、笑いの絶えない一時となりました。

4. 井手町文化祭

11月3日・4日、井手町文化祭に今年度も参加しました。特養、デイサービス、グループホーム、ケアハウスの皆様による素晴らしい作品が披露されました。

また、外出レクリエーションとして会場にも赴き、地域の皆さんとの交流も楽しんでいただきました。

5. 家族会交流会等

11月11日、特養家族会交流会が開催され、職員により、施設の昼間の仕事の様子をスライドなどで紹介し、理解を深めていただきました。交流会後は昼食の試食会を行い、普段ご利用者様にお出ししているお食事を召し上がっていただき、ご感想やご意見をいただきました。

また、11月18日にはグループホームでもご家族様も参加した運営推進会議を開催し、ご家族様からのご意見やご要望をいただき、また、運営会議委員との交流の場となりました。その後、職員による「薬」についての学習会を開催し、最後に、手作りのおやつを参加者全員で味わいました。

2月17日には特養家族会総会が開催され、事業・決算報告等が行われました。その後、ご家族様と職員とのフリートークを行い、交流を深めることができました。

6. 井手町ふれあい福祉まつり

3月24日、井手町ふれあい福祉まつりに参加しました。グループホームのご利用者様は外出レクリエーションとして楽しまれ、在宅介護支援センターでは介護相談コーナーを受け持ち、また施設の事業所PRも行いました。

7. 地域と共に

高齢者や認知症について理解を深めていただくため、地元の児童、生徒たちとの交流や、町民の方々にできるだけ施設のことを知っていただくための活動などを実施しました。

- 11月15日 井手小学校にて認知症サポーター養成講座実施（6年生36名）
- 11月18日 いでの里「オープンデイ」実施（町民の方々43名参加）
- 11月29日 多賀小学校にて認知症サポーター養成講座実施（6年生20名）

8. 安心・安全な施設づくり

皆様が安心してご入所・ご利用いただけるよう様々な取り組みを行いました。

（1）感染症対策（主なもの）

- ・ウイルス対策用薬液噴霧器を施設内随所に多数配置。
- ・流行のフェーズ毎、事業所毎の簡易対応マニュアルを実践。
- ・各事業所詳細版対応マニュアルの見直しと対応訓練、研修の実施。

（2）災害、防災対策（主なもの）

- ・夜間火災等発生想定避難訓練の実施。（30.11.15・31.3.14の2回）

Ⅱ 各事業所の利用（実施）状況

1. 特別養護老人ホーム

上段：利用者数（人）／下段：稼働率（％）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
30年度	2,131	2,092	2,076	2,250	2,149	2,083	2,223	2,045	2,145	2,193	1,929	2,078	25,394
	94.7	90.0	92.3	96.8	92.4	92.6	95.6	90.9	92.3	94.3	91.9	89.4	92.8
29年度	2,200	2,276	2,193	2,134	2,191	2,146	2,269	2,171	2,196	2,170	1,919	2,182	26,047
	97.8	97.9	97.5	91.8	94.2	95.4	97.6	96.5	94.5	93.3	91.4	93.8	95.1

【参考・・・30年度 目標利用者数（稼働率）：26,191人（95.7%）】

平成30年度は、感染症対策を強化したこともあり、全国的に大流行したインフルエンザやノロウイルスなどの感染流行はありませんでしたが、入院者数が前年度比（29年度993人・日→30年度1,639人・日）1.70倍に、退所者数も前年度比1.73倍（29年度15人→30年度26人）増加し、昨年度比・予算目標比いずれにおいても未達となりました。引き続き、年間を通して、ご利用者様の体調管理の一層の充実や退所されても早期の切れ目のない受け入れ等に努力し、稼働率を高めることに努めてまいります。

2. ショートステイ

上段：利用者数（人）／下段：稼働率（％）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
30年度	258	292	312	288	294	230	266	243	236	222	231	266	3138
	86.0	94.2	104.0	92.9	94.8	76.7	85.8	81.0	76.1	71.6	82.5	85.8	86.0
29年度	285	267	260	276	301	253	253	255	269	243	182	234	3,078
	95.0	86.1	86.7	89.0	97.1	84.3	81.6	85.0	86.8	78.4	65.0	75.8	84.3

【参考・・・30年度 目標利用者数（稼働率）：3,268人（89.5%）】

平成30年度は、居宅介護支援事業所との連携を図りつつ、近隣居宅介護支援事業所への働きかけを行うなどにより新規ご利用者様の獲得に努め、また、利用についてはデイサービスやヘルパー事業に結びつけるなど、いでの里全体の稼働も向上させていくという視点で運営を行いました。

年度前半は功を奏し、目標以上の成果を収めました。後半になると、長期ご利用者様を中心に、ご入院、ご入所等の影響により、新規ご利用者様の獲得に努めるも追いつかず、結果、感染症の影響を受けた平成29年度よりは稼働率でアップしましたが、平成30年度の目標稼働率には届きませんでした。

3. グループホーム

上段：利用者数（人）／下段：稼働率（％）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
30年度	270	279	262	248	246	222	221	240	267	265	246	279	3,045
	100	100	97.0	88.9	88.2	82.2	79.2	88.9	95.7	95.0	97.6	100	92.7
29年度	270	277	253	279	249	270	262	270	279	273	250	279	3,211
	100	99.3	93.7	100	89.2	100	93.9	100	100	97.8	99.2	100	97.7

【参考・・・30年度 目標利用者数（稼働率）：3,186人（97.0%）】

平成30年度は、体調不良等によりご入院される方が多くなり（延べ入院日数：29年度54人・日→30年度213人・日）、年間稼働率にも大きく影響し、昨年度比・予算目標比いずれにおいても未達となりました。ご利用者様の介護度の上昇化（30年3月平均介護度2.0→31年3月同左2.4）が今後も見込まれ、更なる健康管理が肝要であることから、ご利用者様の体調の変化に一層注意し、早期の受診に繋ぐこと、そして、退所に至った場合でも速やかに新規入所が行えるよう待機者の確保をするなどにより、運営の安定化を図ってまいります。

4. ケアハウス

上段：利用者数（人）／下段：稼働率（％）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
30年度	450	465	435	465	465	450	465	450	465	465	420	465	5,460
	100	100	96.7	100	100	100	100	100	100	100	100	100	99.7
29年度	245	308	330	327	310	352	392	446	434	465	420	465	4,494
	86.7	95.9	91.6	86.9	86.5	63.8	84.3	99.1	93.3	100	100	100	82.1

【参考・・・30年度 目標利用者数（稼働率）：5,378人（98.2%）】

平成30年度は、満室からスタートし、3名の入退所がありました。ほぼ切れ目なくご利用いただくことができ、昨年度比・予算目標比いずれにおいてもクリアすることができました。引き続き、入居者の確保について、近隣の病院や居宅介護支援事業所などへのPR活動、インターネットを利用した募集や京都府内126ヶ所の地域包括支援センターに毎月情報を提供するなどの活動を行い、直ちに入所したいという方だけでなく、今は生活に支障はないが、将来的なことを考えて、という方も確保していくよう努めてまいります。

5. デイサービス

上段：利用者数（人）／下段：1日当たり利用者数（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
30年度	756	832	799	804	867	771	851	811	769	718	701	776	9,455
	30.2	30.8	30.7	30.9	32.1	32.1	31.5	31.2	30.8	29.8	29.2	29.8	30.8
29年度	771	763	697	721	768	779	809	834	783	708	741	801	9,175
	30.8	28.3	26.8	27.7	28.4	30.0	31.1	32.1	30.1	29.5	30.9	29.7	29.6

【参考・・・30年度 目標利用者数（稼働率）：9,385人（30.5人／日）】

平成30年度は、年間を通じて稼働が安定し、昨年度比・予算目標比いずれにおいてもクリアすることができました。引き続き居宅介護支援事業所との連携を強化し、新規ご利用者様の確保とともにご満足していただけるサービス提供に努めてまいります。

6. ヘルパーステーション

上段：利用者数（人）／下段：1日当たり利用者数（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
30年度	591	634	626	645	615	589	630	586	605	531	511	528	7,091
	19.7	20.5	20.9	20.8	19.8	19.6	20.3	19.5	19.5	17.1	18.3	17.0	19.4
29年度	781	791	699	745	759	696	821	757	700	608	575	636	8,568
	26.0	25.5	23.3	24.0	24.5	23.2	26.5	25.2	22.6	19.6	20.5	20.5	23.5

【参考・・・30年度 目標利用者数（稼働率）：7,440人（20.3人／日）】

平成30年度は、利用回数の多いご利用者様のご入院、ご入所等の影響により、新規ご利用者様の獲得に努めましたが追いつかず、昨年度比・予算目標比いずれにおいても未達となりました。しかし、依然として利用ニーズは高く、特に朝夕の時間帯や土日祝日でのご希望も多く、登録ヘルパーの増員や、事業所内の体制強化などにより、もれなくサービスが提供できるよう運営してまいります。

7. 居宅介護支援事業所

請求件数（件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
30年度	205	203	209	203	207	198	202	198	199	197	192	204	2,417
29年度	209	213	210	203	201	211	207	210	209	211	196	208	2,488

【参考・・・30年度 目標請求件数：2,520件（210件／月）】

平成30年度は、月平均201.4人（要支援を含む）の介護保険請求となり、在宅の方のご入院、ご入所等の影響により前年度の月平均207.3人（同）を少し下回りましたが、井手町の高齢化の傾向から、今後漸増していくことが予測され、また、困難事例も多いことから、井手町や井手町地域包括支援センターと更なる連携強化に努めてまいります。

8. 在宅介護支援センター

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護相談件数（件）	21	13	20	12	3	20	9	12	10	6	18	8	152
ミニデイ参加者（人）	108	93	109	132	100	134	140	114	109	102	62	156	1,359
実施回数（回）	9	7	9	9	7	8	12	7	7	7	7	11	100
配食サービス数（食）	374	410	336	363	421	362	496	417	369	377	356	383	4,663
1日当たり提供数（食）	17.8	17.8	16.0	16.5	18.3	18.1	21.6	19.0	18.5	18.9	17.8	18.2	18.2
介護者教室参加者（人）		9			20			13			11		53
おたっしや塾参加者（人）	32	32	35	34	21	23	38	27	25	22	29	23	341

※おたっしや塾＝介護予防・日常生活支援総合事業

介護相談については居宅介護支援事業所が直接、サービスに繋いだケースが多く、相談件数は昨年度より減少しています。

ミニデイ（高齢者生きがい活動支援）については、町外へ出かける行事を減らし、ゲーム等多人数が集まれるメニューに変更したため、参加総数は増加しました。また、午後からの、気軽に会話ができる場所として「ミニカフェ」を実施し、口コミ等により少しずつ参加者が増えています。

配食サービスは、毎日ご利用されていた方が施設入所や入院等になられたことにより利用件数は減少していますが、デイサービス等のご利用者様で毎日ではない方のご利用も増えています。

介護者教室については年4回開催し、おむつの充て方など関心の高いメニューには多くの参加が得られています。できるだけ参加される方のニーズに沿った内容を取り込んで実施してまいります。

おたっしや塾（介護予防・日常生活支援総合事業）については、平成29年度から開始していますが、平成30年度は7人の登録から始まり、13人の登録で終え、順調に推移していますが、引き続き、井手町や井手町地域包括支援センターと更なる連携強化に努め、周知や実施内容の工夫に加え、参加しやすいよう実施日を増やすなどによりご利用者様の増加を目指します。

資料1

平成30年度 委員会等施設内研修実施記録

実施期日	テーマ	講師等
4月2日～	H30年度 新人研修 「認知症について」「介助の基本」他	法人本部 講師：深草しみずの里 有馬主任 ：京都リハビリテーション病院 近藤科長 他
4月19日	「法人が求める職員を組織人として理解する」	サービス向上委員会 講師：法人本部 清水幹久本部長
4月19日	排泄介護研修	デイサービス 特養いでの里での実践研修(特にオムツ交換習得)
5月23日	「移乗介助」～腰痛を起こさない介助方法～	サービス向上委員会(進行：特養 田中主任) 講師：京都リハビリテーション病院 近藤科長
5月25, 26日	「移乗介助」伝達研修 「車椅子使用で二人ペアになり実技を行う」	ヘルパーステーション伝達講習(進行：中井主任)
6月11日	「接客マナー」～介護現場における接客マナーって？～	サービス向上委員会(進行：在介 久保主任) 講師：京都保育福祉専門学院 岡本匡弘 先生
6月25～30日	ブラックライトを使用して手洗いの研修	毎年実施の手洗い研修
7月27日	「脱水症」	サービス向上委員会(進行：西川管理栄養士) 講師：株式会社明治 管理栄養士 森戸美智氏
8月28日	「嚥下」	サービス向上委員会(進行：西川管理栄養士) 事例発表：デイサービスセンター 上原OT
9月26日	「感染予防」	サービス向上委員会(進行：ヘルパーSt 吉川サ貴) 講師：京都府保健環境研究所技師 平田佐知氏 他
10月4日	「利用者の権利擁護」	サービス向上委員会(進行：GH 篠田リーダー) 講師：京都老人福祉協会 にじまち相談スポット室長 上田充子氏
10月24日	H30年度 新人フォローアップ研修	法人本部
11月21日	「危険予知トレーニング」	サービス向上委員会(進行：DS 岩永主任) 講師：株式会社 葵総合保険コンサルタント 船曳琢也氏、松本崇徳氏
12月13日	伝達講習「危険予知トレーニング」 在宅での「危険」	ヘルパーステーション伝達講習(進行：中井主任)
12月18日	「個人情報」	サービス向上委員会(進行：居宅 玉井主任) 参考事例検討
1月25日	「認知症」	サービス向上委員会(進行：GH 篠田リーダー) 講師：社会福祉法人 京都老人福祉協会 にじまち相談スポット 室長 上田充子氏
2月26日	「フレイル」	サービス向上委員会(進行：CH 板東副主任) 講師：舞鶴YMCA国際福祉専門学校 河岸かおり氏
3月29日	「メンタルヘルス」	サービス向上委員会(進行：特養 井上主任) 講師：社会福祉法人 京都紫明会 うずまさ共生の里 介護課長 田中考行氏

資料2

平成30年度 外部研修実施記録

実施期日	研修名	実施者	場 所	研修テーマ、内容等
4月18日	普通救命講習	京田辺市消防署	井手分署	心肺蘇生を学ぶことでその場に居合わせた際に救命処置を行い救命の可能性を高める。救命の連鎖
5月29日	H30年度 福祉職のためのマナー研修(初級)～こころに寄り添うコミュニケーション術～	京都府社協/京都府福祉人材・研修センター	ハートピア京都	福祉職として採用された新任職員や中堅職員が仕事をする上で必要な社会人としてのマナーの基本を実践的に学び、身に付ける。
5月31日	H30年度 福祉職のためのマナー研修(中級)～内面をみがくコミュニケーション術～	京都府社協/京都府福祉人材・研修センター	ハートピア京都	福祉職として採用された中堅職員や新任職員が仕事をする上で必要なコミュニケーション力を実践的に学び、身に付ける。
6月4日 7月31日 8月27日 9月10日	H30年度 スーパーバイザー養成研修 ～新任職員を育て、職場定着を図るための方法～	京都府社協/京都府福祉人材・研修センター	ハートピア京都	スーパービジョンを職場支援体制として活用できる援助技術と位置づけ、福祉の職場の人材を支え育成する仕組みづくりを高める。
6月8日 7月5日 8月24日	H30年度 キャリアアップ研修(初任者)	京都府社協/京都府福祉人材・研修センター	京都テルサ	福祉職員のキャリアパス(生涯研修体系)の基礎編として、新たに採用された職員を対象として「福祉サービスの理念・倫理の基礎」を学ぶ。
6月8日	第68回老人福祉施設看護職・介護職等研修	京都府社協/京都府福祉人材・研修センター	京都社会福祉会館	「摂食嚥下について～毎日直面する“食べること”を一緒に考えよう～」 講師：田辺中央病院 言語聴覚士 川尻英貴氏
6月15日	H30年度介護保険サービス事業者等に係る集団指導	京都府保健福祉部介護・地域福祉課	文化パルク城陽	「京都府における介護保険事業者等指導・監査方針」「事業運営上の重点事項等」「請求事務に係る留意事項等」「関連団体からの説明等」
6月20日	普通救命講習	京田辺市消防署	井手分署	心肺蘇生を学ぶことでその場に居合わせた際に救命処置を行い救命の可能性を高める。
6月21日	山城北・南ブロック養護軽費(ケアハウス)生活相談員連絡会	京都府老人福祉施設協議会	宇治明星園	「共同生活のルール上での取り決めについて」
7月24日	「身体拘束廃止のリスクマネジメント」と「事故ゼロも夢じゃない新しい誤薬事故防止対策」セミナー	株式会社 葵総合保険	京都キャンパスプラザ	講師：(株)安全な介護 代表 山田 滋氏 あいおいニッセイ同和損保専任アドバイザー ー明日から職場で実践できるー
7月30日	「平成30年度介護報酬改定(栄養関連)に関する伝達研修会」	公益社団法人 京都府栄養士会	京都教育文化センター	講義「平成30年度介護報酬改定(栄養関連)の概要～介護・医療間の栄養連携の推進に向けて～」演習「栄養マネジメント様式の書き方」
8月25, 26日 9月23, 24日	H30年度 京都府介護支援専門員専門 実務経験者更新研修〔課程Ⅱ〕	公益社団法人 京都府介護支援専門員会	京都テルサ	・リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例 ・看取り等における看護サービスの活用に関する事例
8月27日	養護軽費部会生活相談員研修	京都府老人福祉施設協議会	京都社会福祉会館	認知症ケアを通じ「チームケア」を学ぶ。 【ベンサム功利主義理論】 【カントの規範主義】
9月13日	H30年度 身体拘束ゼロ推進研究委員会 基礎研修会	一般社団法人 京都府老人福祉施設協議会	京都社会福祉会館	講義「自分たちのケアを見直し、改善のための第一歩」ー身体的拘束等の適正化のための研修を進める上での大切な視点ー

資料2

平成30年度 外部研修実施記録

実施期日	研修名	実施者	場 所	研修テーマ、内容等
9月19日	普通救命講習	京田辺市消防署	井手分署	心肺蘇生を学ぶことでその場に居合わせた際に救命処置を行い救命の可能性を高める。
10月9日、 11月2日	H30年度 「京都式」 ケアプラン点検研修	公益社団法人 京都府介護支援専門員会	京都テルサ	報告：京都府介護支援専門員会ケアマネジメント委員会の取組と「京都式」ケアプラン点検の概要説明
10月10日	高齢者施設における感染症予防研修会	京都府山城北保健所	京都府宇治総合庁舎	講義：「高齢者施設における感染症対策」講師：京都府山城北保健所 医務主幹 吉田路子医師
10月18日	山城北・南ブロック養護・経費(ケアハウス)生活相談員連絡会	一般社団法人 京都府老人福祉施設協議会	養護老人ホーム 洛南寮	「防災・防犯について」 ・アンケートに基づいたディスカッション
10月18日	結核研修会	独立行政法人 国立病院機構 南京都病院	文化パルク城陽	・結核の基礎知識 ・結核患者発生時の対応と服薬支援の実際 ・抗結核薬について 他
11月6、7日	H30年度 養護軽費部会一泊研修会	一般社団法人 京都府老人福祉施設協議会	京都トレーニングセンター	「フレイル」(虚弱、衰弱)と認知症について 「高齢者サポートハウスの説明」京都府高齢者支援課
11月4日	H30年度 安全運転管理者等に対する法定講習	京都府公安委員会	文化パルク城陽	・法令の知識 ・安全運転管理についての心構えと方法 ・安全運転のための知識
11月20日	H30年度 第2回 デイサービス職員研修会 デイサービス見学ツアー&職員交流会(南部コース)	一般社団法人 京都府老人福祉施設協議会	3施設	デイサービスセンター山城ぬくもりの里、平盛デイサービスセンター、天ヶ瀬苑デイサービスセンター 見学
11月20日	「(障害者・高齢者)虐待の防止と施設・事業所職員の心のケアを考える研修会」	京都府障害者・高齢者権利擁護支援センター	京都商工会議所	虐待につながりやすい身体拘束に対する正しい理解を深める。施設・事業所において虐待等権利侵害の事案が発生した際の職員の心のケア。
11月26日	H30年度 介護報酬改定(栄養関連)に関する実践研修会	公益社団法人 京都府栄養士会	京都府中小企業会館	講義「新規加算の実践について」 講義「栄養情報提供書について」
12月13日	京都府介護支援専門員実務研修における実習受入協力事業所指導者講習会	京都府健康福祉部高齢者支援課	京都テルサ	特定事業加算Ⅱ継続条件による受入体制準備について
12月18日	H30年度 福祉職場組織力向上セミナーⅠ「地域の理解と多職種連携【スタートアップ編】」	京都府社協/京都府福祉人材・研修センター	京都テルサ	講義「地域の理解と多職種連携～新たなつながりでコミュニティをつくるはじめの一步～」
1月18日	H30年度 地域高齢者のフレイル対策を考える研修会	京都府山城北保健所	京都府宇治総合庁舎	講演「高齢者のフレイルと栄養課題」 「宇治地域での『食形態表』作成について」
1月20日	司法書士と学ぶ成年後見制度一日講座	京都司法書士協会・(公社)成年後見センター・リーガルサポート京都支部	キャンパスプラザ京都	「成年後見制度とは？」 「成年後見人の実務」

資料2

平成30年度 外部研修実施記録

実施期日	研修名	実施者	場 所	研修テーマ、内容等
1月24日	H30年度 福祉職場組織力向上セミナーⅡ 次世代でつくる福祉の価値・かたち・カクシン	京都府社協/京都府福祉人材・研修センター	キャンパスプラザ京都	～若手社員ならではの強みを組織で生かすために～ ・これからの福祉職員のあり方
1月27日	H30年度 介護認定平準化研修	京都府健康福祉部高齢者支援課	同志社大学今出川キャンパス	・平成29年度全国の介護認定状況等について 講演「要介護認定に係る留意点等について」
1月30日	H30年度 京都府介護支援専門員会 企画研修（ケアマネジメントスキルアップコース）	京都府介護支援専門員会	ハートピア京都	ケアプラン点検を学ぶ～最新の情報を活用して～ 「ケアマネジメントの標準化」「京都式」
1月30日、 2月5日	認知症カフェ勉強会・見学	オレンジカフェ エリン・西木津ぬくもりの里	オレンジカフェ エリン・西木津ぬくもりの里	「認知症カフェって？」 ～認知症初期や若年性認知症の方の居場所作りが求められています。～
2月11日	H30年度 第2回京都認知症カフェセミナー	京都認知症カフェ連絡会・京都地域包括ケア推進機構	京都テルサ	「認知症カフェを広げるために、～求められる機能と役割について考える～」
2月21日	山城北・南ブロック 養護・軽費（ケアハウス）生活相談員連絡会	一般社団法人京都府老人福祉施設協議会	社会福祉法人青谷福祉会経費老人ホームヴィラ城陽	・「感染対策について」 ・ヴィラ城陽にて施設見学 ・アンケートに基づいたディスカッション
2月21日	H30年度 福祉サービス苦情解決相談研修会	京都府福祉サービス運営適正化委員会	キャンパスプラザ京都	「苦情が生じる背景やその仕組み」～長年の福祉経験から思うこと～ 「苦情解決における実践報告から学ぶ」
2月28日	H30年度 京都府介護支援専門員会企画研修	京都府介護支援専門員会	ハートピア京都	実践課程を可視化できる「生活支援記録法」
3月8日	「虐待予防へ！共感を得ることば」セミナー	京都府社協/京都府福祉人材・研修センター	ハートピア京都	DJポリスも学んだ「スピーチロック」とは・スピーチロックD言葉にならない声掛けの方法・相手の共感を得る言葉選び
3月9日	京都市立病院協会 H30年度病院認知症対応力向上事業研修会	一般社団法人京都市立病院協会	田辺記念病院	「認知症患者の入退院時等における医療・介護連携強化のために」 講義「認知症初期集中支援チームの役割と活動の実際」
3月12日	H30年度 京都府介護支援専門員会企画研修 施設ケアプランマスター	京都府介護支援専門員会	ハートピア京都	日本協会伝達研修「施設ケアマネジメント実務の手引きをひもとく」
3月14日	H30年度 福祉職場研修担当リーダー研修	京都府社協/京都府福祉人材・研修センター	京都テルサ	職員育成の仕組みづくりの基本を学ぼう ～やりがいを持って働き続けられる元気な職場をつくるために～
3月15日	高齢者虐待防止トレーナー養成フォローアップ研修	一般社団法人京都府老人福祉施設協議会	京都社会福祉会館	「不適切なケアを防止するための施設内研修のすすめ方」
3月29日	管理栄養士情報交流会	社会福祉法人京都紫明会 うずまさ共生の里	いでの里	管理栄養士の効果的・効率的な働き方（業務遂行）について

平成30年度 日野しみずの里 事業報告

平成30年度は、介護職員の採用に苦戦し、既存の職員に負担を掛けながらも何とか1年を乗り切ることができました。その結果が財務面では人件費減少方向に働き、予算過達の要因となりました。

4つの事業所の内、特別養護老人ホームについては、生活相談員のベッドコントロール、介護職員や看護職員の良質のケアや処置もあり、年間を通しておおむね安定した稼働率を確保することができ、年間平均目標の95%に対し95.1%となり達成することができました。

ショートステイにつきましては、生活相談員が新規契約者獲得に注力し、積極的な営業活動を行い、介護職員も丁寧な対応を心掛けた結果、上半期は不安定な稼働率でありましたが、下半期には右肩上がりの実績を示すようになりました。年間平均稼働率は77.5%の目標に対し、85.0%で終えることができました。

デイサービスにつきましては、利用者のニーズに合ったレクリエーションや行事を実施し、またお試しの体験利用を積極的に取り入れて営業活動し、新規契約者の増加を図ってまいりました。大幅な増加ではありませんが、年間平均の1日あたりの利用者数は15.0名の目標に対し15.2名の結果となりました。これからも新規契約者の増加を図って行きたいと考えています。

最後に、居宅介護支援事業所ですが、期初から従来のケアマネジャー2名体制がスタートでき、新規利用者の取り扱いを増加させることができました。年間目標の624件に対し629件となり目標は達成することができました。しかし2名体制での件数としてはまだまだ不足していますので、この増加傾向を止めることなく維持して行きたいと考えています。

平成30年度は、職員の採用が順調に進まず、結果人件費を抑制した状況となり、それが予算達成の主要因となりました。

今後はすべての事業所において運営の安定化を図り、稼働率を上積みすることで収入を増加させ、無駄な経費を削減し、予算の達成を図りたいと考えています。

I 事業運営

1. 特別養護老人ホーム

(1) 敬老会

9月17日、長寿をお祝いし、施設3階の談話室にて2部形式で敬老会を開催いたしました。施設からは入居者全員に記念品を贈らせていただき、家族会からは、傘寿（80歳）3名、米寿（88歳）9名、卒寿（90歳）5名、100歳以上2名の合計19名の入居者にお祝いの賞状と記念品をお贈りし理事長からは100歳以上の2名の入居者に、蘭の花が贈られました。敬老会の最後には、参加者全員で「ふるさと」を合唱し、楽しい時間を過ごすことができました。

(2) 秋祭り

11月4日秋祭りを開催いたしました。従来は昼の食事が中心となる夏祭りを開催してきましたが、30年度は文化祭のイメージで開催しました。食べ物はおやつ程度の簡単な物にして、クラブ活動の作品展示やユニットで作成した貼り絵などを展示し、ボランティアによるフラダンスショーやマジックショーを催しました。ネイルサロンやマッサージのコーナーも設け、施設玄関の横に設けた喫茶コーナーはたいへん盛況で、ご家族と共に午後のひと時を楽しんでいただきました。

(3) クリスマス会

12月16日、各ユニット内でクリスマス会を実施しました。家族会の役員の協力を得て職員と一緒に、サンタクロースやトナカイの着ぐるみ姿で、ひとりひとり入居者全員にプレゼントを渡しました。皆様の笑顔が印象的で、明るく楽しいクリスマス会になりました。

(4) レクリエーション

季節を感じていただき楽しんでいただける企画を実施いたしました。

4月—お花見 7月—ギター、マンドリン演奏 8月—ハーモニカ演奏
9月—敬老会 10月—コーラス 11月—秋祭り 12月—教会の讃美歌
クリスマス 1月—餅つき 2月—節分豆まき、よし笛演奏

また、植物園やレストランでの外食など気分を変えていただくような行事も各ユニットで積極的に行いました。

2. デイサービス

(1) 夏祭り

8月16日～22日に夏祭りを行いました。一銭洋食やおにぎり、フライドポテトなどを出店風に提供させていただきました。午後からは射的やビンゴゲームなどを行い、盛りだくさんの楽しい1日を過ごしていただきました。

(2)敬老会

9月17日～22日にかけて敬老会を行いました。ご利用いただいた皆様に記念品をお渡しし、賀寿にあられるご利用者には、長寿をお祝いする感謝状をお渡ししました。和太鼓演奏会やお茶会などの催し物を行い、食事はビュッフェ形式にするなどして、普段と違う楽しさを感じていただきました。

(3)運動会

10月15日～20日は運動会を行いました。玉入れや借り物競争など身体機能に関わるような競技を工夫して行い、楽しんでいただきました。

また、昼食も運動会の雰囲気作りのため、配膳食でなくお弁当形式にして提供いたしました。

(4)レクリエーション

お花見や紅葉狩り、クリスマスや節分などの季節を感じることができる行事や、レストランでの食事やショッピングモールへの買い物など気分転換できるような企画、演奏会などボランティアの協力を得た行事も実施いたしました。

3. クラブ活動

希望者を募り、書道・園芸・手芸、3つのクラブ活動を行っています。

書道 — 先生をお招きし、一生懸命練習されています。

園芸 — 苗を購入し、プランターにお好きなお花を育てています。

手芸 — プレスレットなど気に入った小物を制作されています。

3階フロアに作品や制作中の風景写真を都度展示しました。また秋祭りにも力作を披露されました。

4. 地元と共に

(1)毎週月曜日の朝に、施設周辺の清掃活動行っています。些細なことですが継続することが大事と考えていますので、引き続き実施してまいります。

(2)社会見学受入れ実施

宇治市立御蔵山小学校の社会見学として5年生児童90名の受け入れをしました。30名ずつ3班に分け、それぞれ1時間の所要時間で、前半30分は施設の概要や高齢者施設の役割などの説明を聞いていただき、後半30分はユニット内の設備を見学していただき、フロアでは入居者の皆様とお話をしたり、歌を合唱したりしていただきました。

5. 家族会

4月22日家族会総会を実施しました。ディスカッション形式でご家族の悩みや施設への要望や質問をお受けしました。生の声がきける有意義な会となり、施設としても貴重な時間となりました。

Ⅱ 各事業所の利用（実施）状況

1. 特別養護老人ホーム

上段：利用者数（人）／下段：稼働率（％）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
30年度	3,176	3,213	3,015	3,198	3,299	3,158	3,214	3,146	3,285	3,274	2,913	3,299	38,190
	96.2	94.2	91.4	93.8	96.7	95.7	94.3	95.3	96.3	96.0	94.6	96.7	95.1
29年度	2,886	2,979	2,908	3,057	3,215	3,162	3,325	3,118	3,110	3,077	2,874	3,212	36,923
	87.5	87.4	88.1	89.6	94.3	95.83	97.5	94.5	91.2	90.2	93.3	94.2	92.0

【参考・・・30年度 目標利用者数（稼働率）：38,143人(95.0%)】

平成30年度は、期初から満床でスタートすることができ、入院される入居者が増えた時期もありましたが、年間を通しておおむね安定した運営ができました。年間の稼働率については目標の95%に対し95.1%を確保することができました。

介護職員や看護職員のより良いケアや処置、生活相談員のベットコントロールが目標達成の要因と考えています。次年度も引き続き職員協力体制の下、目標達成を図ってまいります。

2. ショートステイ

上段：利用者数（人）／下段：稼働率（％）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
30年度	236	257	235	234	277	237	269	258	283	279	258	278	3,101
	78.7	82.9	78.3	75.5	89.4	79.0	86.8	86.0	91.3	90.0	92.1	89.7	85.0
29年度							9	42	117	146	172	236	722
							2.9	14.0	37.7	47.1	61.4	76.1	39.7

【参考・・・30年度 目標利用者数（稼働率）：2829人（77.5%）】

平成30年度は、上半期の稼働率が若干不安定ではありましたが、積極的な営業活動により下半期は右肩上がりの実績を示すことができました。年間稼働率については目標の77.5%に対し85.0%を確保することができました。生活相談員は新規契約者獲得のため居宅介護支援事業所へのアプローチに注力し、介護職員も丁寧な対応を心掛けてリピーターを増やすことに務めたことで目標達成できたものと考えています。今後も日野しみずの里のファン作りに努め、運営の安定化を図ってまいります。

3. デイサービス

上段：利用者数(人)／下段：1日当たり利用者数(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
30年度	334	366	383	393	418	369	422	400	397	367	409	422	4,680
	13.4	13.6	14.7	15.1	15.5	15.4	15.6	15.4	15.9	15.3	17.0	16.2	15.2
29年度	352	408	364	338	327	315	325	347	363	330	331	348	4,148
	14.1	15.1	14.0	13.0	12.1	12.1	12.5	13.3	14.0	13.8	13.8	12.9	13.4

【参考・・・・・・・・30年度 目標利用者数（稼働率）：4,620人（15人／日）】

平成30年度は、大幅な増加ではありませんが着実に契約者数を増やし、右肩上がりの状況で運営することができました。1日当たりの利用者数は、目標15人に対し15.2人となりました。居宅介護支援事業所へ積極的に営業を行い、お試しの体験利用なども行い、期初49名の契約者数は期末には60名となりました。引き続き新規契約者数の増加を図ってまいります。

運営については、生活リハビリの一環としての買い物レクや健康体操など利用者のニーズに合ったものを実施してまいりましたが、これからも利用者ニーズに答えていきたいと考えています。

4. 居宅介護支援事業所

上段：請求件数(件)／下段：目標対比(%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
30年度	46	48	52	51	50	51	54	54	55	54	56	58	629
	88.5	92.3	100.0	98.1	96.2	98.1	103.8	103.8	105.8	103.8	107.7	111.5	100.8
29年度	52	49	39	33	36	37	37	42	42	43	46	47	503
	78.8	74.2	59.1	48.5	52.9	54.4	52.8	60.0	60.0	61.4	65.7	67.1	61.2

【参考・・・・・・・・30年度 目標請求件数：624件（52件／月）】

平成30年度は、期初から従来のケアマネ2名の体制が取れたことで、地域包括支援センターや病院等への営業活動で、件数が46件から期末58件まで増加させることができました。年間件数合計は629件となり目標達成はしましたが、2名体制での取り扱いを考えるとまだまだ件数が不足しておりますので、平成30年度の右肩上がりの増加傾向を後退させることのないように、次年度も継続増加できますよう営業活動に注力してまいります。

資料

平成30年度 研修記録

実施期日	演題・テーマ	実施者	場 所	内容の概要等
(期 間)	(講習会名)	(主催者)	(実施地名)	
4月2日 ～ 4月5日	新人研修	本部人事	呉竹文化センター、キャバ スプラザ	社会人としての基本事項を学ぶ
4月6日 - 4月9日 4月10日	新人研修	研修委員会	施設内	施設の基本事項や業務全般について学ぶ
4月19日	リハビリと栄養	京都市 老人福祉施設 協議会	ひとまち 交流館	嚥下機能とトロミ調整食品について
4月23日 4月24日	理念、コンプライアンス ケアについての目標	研修委員会	施設内	理念、コンプライアンスについて 特養におけるケアについて
5月21日 5月22日	社会人のマナー研修	研修委員会	施設内	私たちに必要なもの
5月28日 ～ 7月11日	京都市 認知症介護実践者研修	京都市社会 福祉協議会	ひとまち 交流館	認知症の容態に応じ生活の質の向上を図る 対応及び技術を習得する
5月31日	ケアに必要な解剖学、運 動学	京都市社会 福祉協議会	ひとまち 交流館	骨や筋肉の動き 日常生活動作の観察
6月7日	生涯キャリアパス研修 チームリーダーコース	京都市社会 福祉協議会	ひとまち 交流館	チームリーダーとしてのキャリアデザイン と自己管理、目標設定
6月11日	体位交換	京都市社会 福祉協議会	ひとまち 交流館	残存機能を利用した体位交換
6月14日	接遇 マナー研修	京都税理士 法人	オフィス 四条烏丸	接遇対応の基本マナーの習得

6月21日 6月27日	生涯キャリアパス研修 中堅コース	京都市社会 福祉協議会	ひとまち 交流館	キャリアデザインと自己管理 福祉の基本理念
6月25日 6月26日	緊急時の対応	研修委員会	施設内 研修	施設内、夜間等緊急時の対応について
6月27日	高齢者虐待防止	京都市社会 福祉協議会	京都社会 福祉会館	介護福祉従事者による高齢者虐待防止について
6月29日 7月24日	コーチングを学ぶ	京都市社会 福祉協議会	ひとまち 交流館	対人援助職のためのコーチング活用
6月30日	床ずれ対策セミナー	バナマウン トベッド	京都 テルサ	褥瘡予防の基本 圧・ずれ・蒸れの対策
7月3日 7月12日	生涯キャリアパス研修 初任者コース	京都市社会 福祉協議会	ひとまち 交流館	キャリアデザインと自己管理
7月5日 7月18日	介護研修（初級）	京都市社会 福祉協議会	ひとまち 交流館	正しい排泄ケア ポジショニングを行うための考え方
7月24日 7月25日	心肺蘇生	醍醐消防署	施設内	救急対応の重要性 心肺蘇生法、AED使用方法
8月7日 8月8日	生涯キャリアパス研修 管理職員コース	京都市社会 福祉協議会	ひとまち 交流館	キャリアデザインとセルフマネジメント 管理職としての能力開発
8月23日	介護研修（初級）	京都市社会 福祉協議会	ひとまち 交流館	シーティングを行うための考え方
8月27日 8月28日	不適切ケア	研修委員会	施設内 研修	不適切ケアについて考える 介護施設での虐待
9月24日 9月25日	感染予防と褥瘡ケア	研修委員会	施設内 研修	冬に向かったの感染予防対策と 褥瘡ケアについて

9月26日	認知症基礎知識	京都市社会 福祉協議会	ひとまち 交流館	認知症ケアに欠かせない医学的基礎知識
10月15日 10月22日	生涯キャリアパス研修 チームリーダーコース	京都市社会 福祉協議会	ひとまち 交流館	チームリーダーとしてのキャリアデザイン と自己管理、目標設定
10月22日 10月23日	院内感染研修	研修委員会	施設内 研修	吐物の取り扱い、処理方法
10月23日	新人研修	人事部	本部施設	半年間の振り返り、マナー接遇の再確認
11月19日	京都市認定調査員 現任研修	福祉サービ ス評価機構	京都 テルサ	認定調査員に求められること 認定調査員の役割
11月19日 ～ 12月14日	ユニットリーダー研修	ユニットケ ア推進セン ター	各指導 施設	ユニット内におけるリーダーシップとマネ ジメントの在り方を実践的に学習
11月20日	自分の体を通して学ぶ	京都市	老健施設	理学療法士による姿勢チェック リハビリサービスの現状、情報交換
11月26日 11月27日	スキンケア 個人情報	研修委員会	施設内 研修	スキンケア症例発表 個人情報保護法について
12月17日 12月18日	認知症ケア	研修委員会	施設内 研修	認知症について理解を深める
12月19日	フォローアップ研修	人事部	本部	3年目職員のフォローアップ研修 現状把握、目標やキャリアビジョン
2月25日 2月26日	ユニットケア研修	研修委員会	施設内 研修	ユニットケアとはどのようなケア ユニットリーダー研修の伝達研修
3月25日 3月26日	虐待について	研修委員会	施設内 研修	高齢者虐待について 高齢者虐待防止について

平成30年度 深草しみずの里 事業報告

特養の定員は110名。転倒骨折や不慮の事故による入院を極力防ぐとともに、職員及び来訪者等の手洗い・うがい励行による感染症発生予防に努めた事により、1年間を通じてほぼ安定した稼動(97.4%)を維持することができました。

特に、入居者が入院された時には、症状・治療状況等について、適宜、入院先医療機関に確認し、入院後1月を目処として、症状等から3月以内に退院できる見込がたたない方については、一旦、退所していただき、その後、入院中の病状が安定し施設での生活を送れる状態となった場合に、できる限り優先的に施設に戻っていただけるように入所調整を行いました。

今後も、引き続き入院された方の症状把握をきめ細かく行い、個々の症状を勘案したうえで適切な対応に努めてまいります。

短期入所(ショートステイ)の定員は10名。在宅部門としての受け入れ態勢の整備を図りながら、居宅介護支援事業所への積極的な営業活動を行うことにより、新規利用や継続利用の方が増えるとともに、当施設デイサービスご利用者からの申し込みも増加傾向にあり、年間を通じて1日平均8.3人を維持することができました。

今後も体調不良や他施設利用によるキャンセルを見越した上で、安定稼動が図れるよう居宅介護支援事業所への積極的な働きかけを行ってまいります。

通所(デイサービス)は定員30名。ご利用者の増加に対応すべく業務体制の見直しや適正業務執行への意識付けを進め、併せて、デイサービス実施内容に徐々に工夫を凝らし選択メニューも増やしたうえで、翌月のスケジュール表を作成して相談員による積極的な営業活動を継続した結果、1年間を通じて1日平均21.2人(多い日は1日27人)までご利用者を増やすことができました。

施設開設後3年が経過し、地域包括ケアの一端を担い地域住民の方々に最も身近な介護サービスを提供できる在宅部門であるデイサービスの利用を通じて、新たにショートステイを利用される方、また、ショートステイの継続利用を通じて特養に入所される方も増加していることから、デイ・ショート・特養相談員間の情報共有と連携を密にするとともに、ケアフルヴィレッジ内の各施設(リハ病院・老人保健施設)相談員とも連携を深め、さらなる地域貢献に努めてまいります。

I 主な事業運営

1. 特別養護老人ホーム・短期入所(ショートステイ)

(1) 夏祭り

8月5日の日曜日に夏祭りを開催しました。開会宣言ののち、若手職員によるダンスで幕開け。ボランティアによるマンドリンの演奏と合唱を楽しまれたのち、食堂での模擬店で、カレー・お好み焼き・フランクフルト、スイカ/ケーキを、ご利用者・ご家族・ボランティアの皆様に提供させていただき、多くのご家族の方々もご利用者とともに、出し物であるビンゴゲームや射的、ボーリング、駄菓子・ジュースを楽しんでおられました。午後からは、ボランティアによるギター演奏や櫓を囲んでの盆踊りなど楽しく過ごしていただきました。また、夏祭りに向けて各ユニット入居者が力を併せて製作された各種製作物を展示しお披露目をさせていただきました。

(2) 敬老会

9月17日の敬老の日に、長寿をお祝いし、フロアごとに、皇寿(100才以上)、百寿(100歳)、卒寿(90歳)、米寿(88歳)、傘寿(80歳)の方々にエレベーターホールにお集まりいただき、それぞれの長寿年齢に応じた職員手作りのポートレート(ユニット職員が撮影した写真に文書を添えたカード)と記念品(靴下)、紅白饅頭をお渡しし、フロア全体でお祝いし、記念写真を撮りご家族にも喜んでいただけました。

(3) お楽しみ会(新年会の代わり)

1月6日に予定していた新年会がインフルエンザのため延期となり、2月24日の開催となりました。各ユニットにおいては、ご利用者様が事前に練習を繰り返されておられた歌をご披露いただき、互いに練習の成果を称えられ交流を深められました。また、職員による「獅子舞」「二人羽織」等の出し物でも盛り上がり、ご家族も含めて楽しい時間を過ごしていただきました。

(4) 春・秋の喫茶

入居者の方々に普段と違った雰囲気の中で季節を感じていただくために、デイサービスルームに装飾を施し、ご自分の嗜好にあった飲み物の種類(コーヒー・紅茶・緑茶・各種ソフトドリンク等)とお菓子を選んでいただき、ユニットを超えた交流を図っていただきました。

(5) 各種レクリエーション

① ボランティア

2箇月に1回の割合で、ギターの弾き語りボランティアを行っていただいております。また、入居者様ご家族にウクレレ演奏やギターと歌のボランティアも行っていただきました。

② ユニットレク

クリスマス会や節分等の行事は各ユニットで趣向を凝らし、また、特養棟屋上庭園や中庭への散策は、天気事情に応じて適宜実施する他、施設外へ赴く外出レクリエーション(春のお花見、秋の紅葉狩り、動物園、水族館、鉄道博物館、喫茶店、寿司店)や食事レクリエーション(たこ焼き、お好み焼き、各種鍋、おやつ作り)はユニット行事として、それぞれがユニット事情を考慮して計画・実施し喜んでいただいております。特に、季節に応じた野菜(ジャガイモ、きゅうり、トマト、ピーマン、エンドウ豆)を育てるユニットが多く、芋ほりや成果物の収穫により、ポテトサラダや豆ゴハンに調理して、季節の味を楽しみました。

(6) クラブ活動

- ・フラワーアレンジメント 毎月、参加者がそれぞれの趣向により、オアシス(保水力のある硬いスポンジ)に花をアレンジして差し込むことにより、楽しみながら集中力を養い日常リハビリを兼ねていただいております。
- ・絵手紙教室部 第二木曜日に、葉書大の紙に思い思いの絵を画いて、それぞれのお部屋に飾って楽しんでいただいております。

(7) 介護相談員

平成 29 年 2 月から、京都市介護相談員派遣事業による介護相談員 2 名(男女各 1 名)の派遣を受入れています。(毎月 2 回実施)

介護相談員は、サービス利用者やその家族から話を傾聴する中で、利用者や家族が感じておられる日頃の疑問や困りごと、また、職員に直接言いにくいことなどがあれば、サービス提供施設との間に立って問題解決に向けた手助けをする、いわば利用者や家族との橋渡しをする役割を担っています。特に、帰宅願望の強い認知症状の方を中心に傾聴を行なっていただいております。個々の過去の記憶を呼び起こすことで会話が弾み気持ちが落ち着かれる効果も現われています。

(8) 地域との交流

平成31年4月に、ケアフルヴィレッジも開設4年目を迎えることから、藤森学区の皆様にも、ケアフル3施設（リハビリ病院・老人保健施設・特養）をもっと知っていただくために、オープンヴィレッジを開催し75名の方の参加を得ました。リハビリ病院の富士榮先生(内科医)のご講演「あなたの血管しなやかですか？」ののち、3施設に分かれて各施設を見学され、リハビリ体験、健康相談、認知症予防相談等を受けられ、3施設をより身近に感じていただきました。

2. 通所(デイサービス)

(1) 夏まつり 8月27・28・29日の3日間、ご利用者に五感で夏を感じていただき、回想療法による効果も期待して、懐かしいゲーム(射的・金魚すくい・輪投げ)を体験していただき、盆踊りも全員参加で実施し、懐かしさと楽しさの中で喜んでいただきました

(2) 敬老会 9月17日に、お抹茶とお菓子でお茶会を開催して、その様子を写真撮影し、記念品としてお持ち帰りいただきました。

(3) ボランティア 同じギターの弾き語りボランティアの方に、毎月1回の割合でお越しいただき、ギター演奏を通じて参加者全員との交流を深めていただいております。また、毎月第1月曜日に絵手紙教室を開催し、葉書大の紙に思い思いの絵を画いていただき、お持ち帰りいただいております。

(4) 運動会 10月22・23・24日の3日間、紅白チーム対抗で、玉送り、マッシュマロ探し競争、職員による二人三脚等で、身体をフルに使い、楽しく爽やかな時間を過ごしていただきました。

(5) クリスマス会 クリスマス週間(12月24)には、職員のハンドベル演奏により、クリスマスソングを楽しんでいただきました。

(6) 各種レクリエーション

桜や藤棚、紅葉、伏見桃山城や岡崎公園等への外出レクリエーション、喫茶レク、お好み焼きやたこ焼き、各種鍋料理の食事レク、水無月・ホットケーキ・クッキー・ベビーカステラ等をつくるオヤツレクも季節に合わせて計画・実施し喜んでいただいております。

(7) 個別機能訓練

現在の在宅生活を一日でも長く続けていただけるよう、毎回、日常生活動作の維持・向上を目的とした体操(上下肢、骨盤低筋、手先)を40分程度継続して行っていただいています。

(8) 認知症予防「みんなの脳活性化いきいきゲーム」の導入

身体面の維持向上及び脳の活性化を図ることを目的として、認知症予防に長年の実績のある「NPO法人・認知症予防ネット」が開発された21種類のプログラムに基づき、研修を受けた当施設介護職員が毎週木曜日に1時間かけて実施しております。

II 各事業所の利用(実施)状況

1. 特別養護老人ホーム

上段:利用者数(人) / 下段:稼働率(%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
30年度	3114	3312	3227	3355	3367	3186	3341	3246	3326	3304	3019	3342	39139
	94.4	97.1	97.8	98.4	98.7	96.5	98.0	98.4	97.5	96.9	98.0	97.8	97.4
29年度	3109	3222	3184	3290	3230	3100	3203	3091	3257	3307	2947	3276	38216
	94.2	94.5	96.5	96.5	94.7	93.9	93.3	93.7	95.5	97.0	95.7	96.1	95.2

【参考・30年度 目標利用者数(稼働率): 38,544人(96.0%)】

年度当初の4月は入院が1日最大8人(平均6.2人)で稼働率が低調でしたが、その後、入院1ヶ月を目処に、症状の推移・回復状況・退院見込について、きめ細かく把握を行い、入居者にとって最も適切なケアの提供という観点からご家族との話し合いを行い、退院見込みの立たない方には一旦退所していただき、入所待機者の中で緊急度の高い方に入所していただくよう取り組みました。その結果、年度を通じて安定した稼働率を維持することができました。

2. 短期入所（ショートステイ）

上段：利用者数（人）／下段：稼働率（％）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
30年度	239	270	274	267	275	262	257	246	248	248	212	236	3034
	79.6	87.1	91.3	86.1	88.7	87.3	83.0	82.0	80.0	80.0	75.7	76.0	83.1
29年度	248	255	239	218	234	231	274	227	262	269	226	222	2905
	82.7	82.5	79.6	70.3	75.5	77.0	88.0	76.0	81.0	81.0	81.0	72.0	79.6

【参考・30年度 目標利用者数（稼働率）：2,920人（80.0％）】

1～2泊の短期利用が多く、入退所に伴う送迎回数も多かったが、デイからのご利用者が増加し、特養の待機者がお試しで長期利用されるなど、深草しみずの里としての事業所間連携が進み、当初計画を上回ることができました。

3. 通所（デイサービス）

上段：利用者数（人）／下段：1日当たり利用者数（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
30年度	494	514	457	446	520	512	611	637	604	599	550	595	6539
	19.9	19.0	17.6	17.2	19.3	20.5	22.6	24.5	24.2	25.0	22.9	22.9	21.2
29年度	378	380	366	377	416	438	442	467	483	422	417	510	5096
	15.1	14.1	14.1	14.5	15.4	16.8	17.0	17.9	18.6	19.0	17.4	18.9	16.5

【参考・30年度 目標利用者数（稼働率）：6,365人（20.6人／日）】

近隣に同業者が多いため事業所の独自性を高めるために、日常生活動作の維持・向上のための個別機能訓練や脳活性化いきいきトレーニング、外出レクや食事レク、おやつレク等、ご利用者の要望に沿った事業を展開し、新規のご利用も増加傾向にあります。

社会福祉法人弥勒会 H30年度深草しみずの里施設内研修会

実施月	法定	日時	テーマ	内容	担当
4月	法定	10日、17日、24日	新人職員研修 法人理念・法令順守研修 個人情報保護・ プライバシー保護	法人の理念を職員全員で共通認識する 介護職員のための法令順守	施設長
5月		1日、8日	エンゼルケア研修	お亡くなりになった後の介護職員のできること	セレマ
5月	法定	15日、22日	食事介助・嚥下、 トロミの種類・作り方	嚥下機能について トロミのつけかたについて実践で学ぶ	フードケア
6月		5日、12日 19日、26日	排泄ケア研修	オムツの適正な使用方法を習得する	ユニ チャーム
7月	法定	3日、10日 17日、24日	感染症予防研修	食中毒についての研修 と感染予防	伏見保健 医療セン ター
8月	法定	5日、12日 19、26日	身体拘束廃止の リスクマネジメント 誤薬事故防止研修	身体拘束0に向けての 取組み 誤薬事故の取組みについて	フロアー リーダー
9月		11日、18日	作業療法士が伝えたい レクリエーション	目的や根拠のあるレク レーションとしてユニット で企画する	大野
10月		16日、23日	口腔ケア研修	正しい口腔ケアの方法 を学ぶ	フードケ ア
11月	法定	月初	身体拘束・高齢者虐待	施設内で行われている ケアの振り返り	職員全員
11月	法定	6日、13日 20日	感染症予防研修	インフルエンザ・ノロ ウィルスを理解し対応 方法を学ぶ	サラヤ
12月		4日、11日	成年後見制度概要と実 務について	成年後見制度の概要 を理解し入居者への支 援をスムーズにする	藤田 行政書士
1月		15日、22日	嚥下・トロミについて	嚥下機能について トロミのつけ方を実践 で学ぶ	フードケア
2月	法定	5日、12日	身体拘束事例研修	施設外での事例をもと に施設内でのケアに展 開する。	フロアー リーダー
2月	法定	19日、26日	認知症ケアを理解しユ ニットケアに繋げる	認知症ケアを振り返り、もう一度ユニットケアの原点に立ち返る	有馬
3月	法定	5日、12日 19日、26日	身体拘束・高齢者虐待 虐待 不適切ケアについて	神戸市虐待DVD視聴	有馬

社会福祉法人弥勒会 H30 年度深草しみずの里外部研修

日 時	外部研修内容	受講職員
平成 30 年 5 月 10 日	京都市認知症基礎研修	吉野
平成 30 年 5 月 29 日	生活相談員研修	小田
平成 30 年 6 月 26 日	ユニットリーダー研修	笠井
平成 30 年 7 月 5 日	排泄ケア	藤原
平成 30 年 7 月 14 日	よくする介護全体研修	吉村、藤本、楠田
平成 30 年 7 月 18 日	ポジショニング研修	瀬織
平成 30 年 7 月 24 日	リスクマネジメント研修	有馬、毛利、吉村
平成 30 年 8 月 6 日	褥瘡ケア	神埼
平成 30 年 8 月 23 日	シーティング	植西
平成 30 年 8 月 29 日	作業療法士が伝えたいレクレーション研修	大野、大栗
平成 30 年 9 月 7 日	京都市認知症介護実践者研修	澤田清子
平成 30 年 10 月 11 日	認知症研修	白波瀬 武田
平成 30 年 11 月 7 日	京都市認知症基礎研修	川村
平成 30 年 11 月 14 日	介護職リーダーのための腰痛予防	上田
平成 30 年 11 月 20 日	化粧療法	松田、片山
平成 31 年 1 月 22 日	リスクマネジメント研修	吉村、野々口
平成 31 年 1 月 22 日	ケアマネ更新研修	有馬
平成 31 年 3 月 9 日	よくする介護実践編	吉村、藤本、楠田

平成30年度 (仮称)久御山しみずの里事業報告

平成30年度は、基本設計・実施設計が概ね完了し、交付金申請・土地関連協議・借入金協議等の整備に関する実務とともに、久御山町との運営面についての協議を重ねるなど、平成32年度末の開設に向けて、概ね順調な進捗で終えた年度となりました。平成31年度は開設前年度として、更なる協議を重ねつつ、多方面にわたる実務が具体化していくこととなります。現段階では、開設予定日の遅延及び計画に支障を来たす深刻な課題もなく、進捗状況も順調であります。今後も事業の進捗状況を適宜ご報告し、開設に向けて万全を期す所存であります。

1. 事業進捗状況

- 平成30年 4月～ 整備・運営に関する久御山町との協議 (下記3に記載)
- 平成30年 8月～ 基本設計・実施設計
- 平成30年 9月～ 地質調査
- 平成30年12月～ 福祉医療機構・民間金融機関との借入金協議
交付金申請の書類作成
- 平成31年 1月～ 下水排水制限に関する久御山町との協議
- 平成31年 3月 借地の区画整理・登記等

2. 今後のスケジュール

- 平成31年 4月 交付金の申請
- 令和 元年 6月 交付金の内示
- 令和 元年 6月～ 建設委員会の設置
建築工事業者入札準備作業
建築確認申請
- 10月～ 土地賃貸借契約開始
- 12月～ 工事起工
- 令和 3年 1月～ 工事竣工
- 3月～ 開所

3. 整備・運営に関する久御山町との協議事項

① 運営事業内容

- 確定事業 特別養護老人ホーム110床 (ユニット型110床)
ショートステイ10名 (ユニット型10床)
通所介護30名、防災拠点型地域交流スペース (約190㎡)
- 未定事業 ケアハウス・訪問看護ステーション、認知症相談、24時間巡回介護
看護・障害者対応型通所介護・地域包括支援センター等
→久御山町の必要度に応じて随時検討とする。

② 防災拠点型地域交流スペースの活用

災害時の非難場所として活用するとともに、町民参加の町事業等の実施場所とし

でも有効活用する。単なる場所の提供とするのか、施設職員がスタッフとして携わる委託事業とするのか等々、詳細を協議中。

③ 排水制限に関する久御山町との協議

施設開設後の排水に関して、「排水槽を設ける必要なく下水に排水を放流してもよいが、計画排水量（32 m³/日）を超えないように」との要望があった。場合によっては排水槽の設置による設計変更及び建設費の増加が予想されたが、関係部署との協議の結果、排水の平準化に努力することで合意が得られた。

④ 交付金・補助金等の協議

京都府特別養護老人ホーム等生活空間向上推進事業補助金の交付に向けて、基本補助及び対象となる特別補助を検証し、既に申請を完了している状況であります。また、久御山町単独の補助金についても補助対象・補助金額の協議中であり、更には開設前の借入金利子補給補助金検討など、交付可能な補助金については漏れのないように注力してまいります。

平成30年度 法人本部事業報告

平成30年度は、「いでの里」が特養・短期稼働率の未達による収入減を人件費等の支出減で補ったこと、「日野しみずの里」「深草しみずの里」が堅調な稼働率により収入が安定したこと、施設全般に職員の安定化が図られたこと等々の結果、全施設が資金収支差額予算目標を達成し、前年度に比べて業績が大きく改善しました。

来る令和2年度末に開設を予定している(仮称)「久御山しみずの里」の自己資金を確保するためにも、平成31年度も同様に安定稼働に伴う収益の確保、厳しい職員採用状況を踏まえた人材の安定、計画的な支出の執行等々に努め、より一層安定した施設経営を実践していきたいと考えております。

1. 事業内容

①評議員会の開催

定時評議員会 平成30年 6月22日－平成29年度事業報告・決算、定款の一部変更等

②理事会の開催

第1回理事会 平成30年 6月 6日－平成29年度事業報告・決算、定款の一部変更等

第2回理事会 平成30年 7月 9日－新設特養整備に係る設計・工事監理業務委託の契約

第3回理事会 平成30年11月 5日－理事長・副理事長の職務執行状況報告等

第4回理事会 平成31年 3月28日－平成31年度事業計画・予算、諸規程の改正等

③グループ経営会議の開催

毎月1回開催－各事業所の予算達成状況の確認、経営上の問題点の改善等

④ケアフルヴィレッジ伏見しみずの郷経営戦略会議の開催

毎月1回開催－京都リハビリテーション病院・深草京しみず・深草しみずの里の運営課題の検討等

⑤経営戦略会議の開催

毎月1回開催－いでの里・日野しみずの里の運営課題の検討

⑥各事業所運営会議の開催

毎月1回開催－各事業所運営上の問題点の改善等

2. 収支について

既存施設の経営安定及び新規施設の開設準備を目的とし、グループ全体の人事・総務・経営企画・財務・施設管理等の人員強化をしたことで支出増加となっているが、多方面にわたり、一定の成果が得られたものと思われます。

収入－各拠点区分(いでの里・日野しみずの里・深草しみずの里)からの繰入金収入

支出－役員報酬・兼務職員の人件費等

収支差額－ゼロ

3. 今後の課題

各施設が立地条件や周辺環境により、独自の経営課題を有しており、共通課題をグループ全体で取り組むだけでなく、個々の個別課題をきめ細かく克服していくことが重要であると思われます。経営サイドと現場サイドが共通の目的意識を持って課題に取り組むことで利用者満足度を高めるとともに月次予算を確実に達成し、一層の法人経営安定に努めてまいります。また、昨今のあらゆる業界における働き手不足は、施設運営上深刻な問題と捉え、職員の定着化と人材確保を最優先事項として取り組んでいきます。(仮称)「久御山しみずの里」開設を次年度末に控え、例年にも増して医療法人清水会との連携を深め、京都清水メディケアシステムの一員として更なる法人の発展と地域社会への貢献に尽力してまいります。